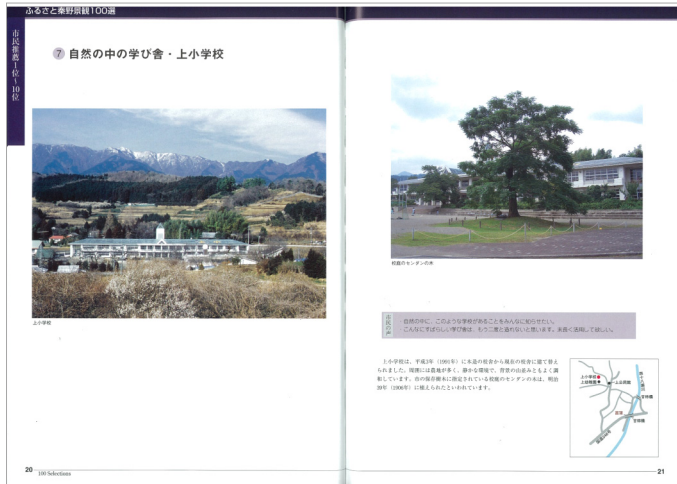


\*この事例集は、景観まちづくり教育ホームページの「景観まちづくり講座事例集」(全52事例)のうち、主として「景観・景観まちづくりに関する知識を習得する」ことを目的とする事例を収録したものです。

### 収録事例リスト

- 地域の景観・景観まちづくり情報を広く発信する
  - ◆地域の良好な景観の選定・周知
    - 08 ふるさと秦野景観100選 [神奈川県秦野市]
  - ◆景観情報誌の発行
    - 09 景観情報誌「景」 [福島県]
    - 10 景観情報誌「景観」 [新潟県上越市]
    - 11 都市景観推進事業「かりや景観ればーと」 [愛知県刈谷市]
  - ◆景観形成に貢献する建築物や活動の表彰・周知
    - 12 はつかいち景観づくり大賞 [広島県廿日市市]
    - 13 延岡市都市景観賞 [宮崎県延岡市]
  
- 趣味や特技をきっかけに景観に関心をもってもらう・趣味や特技を活かして景観まちづくりに取り組んでもらう
  - ◆絵画・写真・デザイン
    - 16 さっぽろ市民カレッジ「まちづくりのデザイン」 [北海道札幌市]
    - 17 まちづくり講座～街並みスケッチ編～ [三重県桑名市]
  - ◆地域の歴史・地元学
    - 18 歴史を生かしたまちづくりセミナー [神奈川県横浜市]
  - ◆ガーデニング
    - 19 ガーデニング講座 [北海道清里町]
  
- 景観や景観まちづくりの考え方や手法を学んでもらう
  - ◆まちの魅力・課題発見ワークショップ
    - 27 まち並みウォッチング [東京都文京区]
    - 28 いせさき風景探偵団 [群馬県伊勢崎市]
    - 29 親子景観セミナー「親子で探検・鎌倉の魅力」 [神奈川県鎌倉市]
    - 30 こどもまち並み観察隊 [群馬県桐生市]
    - 31 ジュニア景観士講座「子どもまちなみ探検隊」 [北海道千歳市]
    - 32 ふじさわこどもまちづくり会議 [ふじさわこどもまちづくり会議実行委員会]
  - ◆景観まちづくり出前講座
    - 33 もりおかまちづくり出前講座ーもりおかの都市景観ー [岩手県盛岡市]
    - 34 生涯学習出前講座「あびこの景観」 [千葉県我孫子市]
    - 35 個性豊かな住環境づくり事業「住まい・まち体験学習」 [大阪府八尾市]
    - 36 小・中学校景観出前授業 [高知県・高知県高知市]
    - 37 中学生のための景観教室 [宮崎県宮崎市]
  - ◆景観まちづくり講座
    - 38 景観形成のための街づくり勉強会 [群馬県富岡市]
    - 39 西宮まちなみ発見クラブ [兵庫県西宮市]
  - ◆色彩講座
    - 40 建物の色がつくる美しい景観教室 [神奈川県横須賀市]
    - 41 色彩と景観の関係を学ぶ「色彩講座」 [長野県上田市]
    - 42 環境色彩セミナー [青森県]



- ❖自分たちのまちの、美しい眺望や豊かな自然、歴史や文化、人々の暮らしなど、魅力ある物を市民の手によって選定したのが「景観 100 選」。眺望景観や歴史景観など様々な景観が選ばれています
- ❖市民が、100 選の投票に参加するだけでなく、まち歩きやシンポジウムの開催など、まず地域の景観を知り、どうあってほしいかを考えるところから取組みが始まっています。

詳細

○対象：市民

○内容・特徴：「ふるさと秦野景観：優れて、我々の生活を支え、心を豊かにしてくれる歴史、風土、文化、自然を映し出しているもの」として、市内の 100 の景観を選出。市制施行 50 周年の記念事業の一環として実施。

○選定方法

・「実行委員会（自治会代表者、景観まちづくり市民会議からの代表者、市職員等）」で、選定方法やスケジュール等が決定され、選定に向けて、下記の催しを開催。

① 「ふるさと秦野景観見て歩き」開催	各地域の魅力を再確認するため、地域をよく知る「ふるさとガイド名人」の案内により、各地域の見所を見て歩く。
② 「ふるさと秦野の魅力(作品)」募集	魅力や誇れる景観、こうあってほしい景観の姿を表現した作品を募集し、展示会を開催する。
③ 「ふるさと自慢シンポジウム」開催	各地域の代表者をパネリストに招き、地域での取り組みや、魅力づくりについて話し合う。
④ 市民推薦募集	①～③により選定された「ふるさと秦野景観」の候補を公表し、市民による投票や、推薦理由、活用案の募集を行う。

・上記の催しを踏まえて、「選考委員会（学識者、画家、実行委員会代表、景観まちづくり市民会議代表、学生、市職員等）」により「百選」を選定。



冊子「ふるさと秦野 景観 100 選」



景観 100 選の冊子を作成。ガイドブックとしても活用できるよう、場所の案内図や説明、市民からの推薦の声等を掲載。

- ◇市民推薦 1 位～10 位
- ◇山の眺望
- ◇展望ポイントからの眺望
- ◇里山・田園の眺望
- ◇水辺の景観
- ◇歴史・文化の景観
- ◇街の景観
- ◇あなたが選ぶふるさと秦野景観  
(100 件目に、冊子を見た人が「心に残る景観」を足すことで、100 選が完成する。)



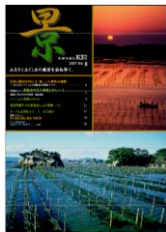
- ❖ 自然景観、街並み、景観づくりの取り組み等、県内の景観に関する情報を、美しい写真とともに紹介する景観情報誌「景」。
- ❖ 誰でも手に取れる冊子とし、写真を多く取り入れた構成にしたり、市民自らが編集に携われるようにしたりして、市民が身の回りの景観を知り、意識するきっかけづくりをしています。

詳細

- 対象：市民
- 目的：情報誌を通じて、景観を意識し、知識を得るきっかけとする。
- 内容・特徴：県内の美しい景観や景観づくりの取り組みなどを広く紹介するため、グラフィックやインタビューなどで構成された冊子。

○概要

- ・発行開始年：平成 12 年。
- ・発行頻度、部数：年 1 回 3 月の発行、10,000 部。
- ・企画・編集：一部のページを景観サポーターから募集した編集委員に委託し、編集。
- ・体裁：A4 版カラー、16 頁。
- ・主な配布先：各市町村、県内中高等学校、関係団体・事業者、地域づくり団体など。



- 「景」第 8 号（2007 年）
  - ・ 自然と歴史を活かした「美しい三春町」の挑戦～「まちなみづくり」の先駆者の景観づくり
  - ・ 景観法時代の建築とまちづくり
  - ・ ふくしまの景観を考える～佳境・柳津の「源」をたずねて、ほか～



- 「景」第 7 号（2006 年）
  - ・ 曇ってしまった『宝』、美しい景観の再発見に向けて～自然（森林）景観整備の取り組み～
  - ・ うつくしまふくしま・絵になる街をつくろう～色の効果を考える～
  - ・ 景観づくりのポイント～優良景観形成住民協定の締結に向けて～



- 「景」第 6 号（2005 年）
  - ・ 良好な景観形成の推進のために～景観法の概要～
  - ・ 美しい景観を創るために～これからの景観形成～
  - ・ 磐梯高原広域サイン計画による景観形成の取り組みがはじまる
  - ・ 街路事業をきっかけとした住民参加の景観づくり



❖市内のまちなみや、身の回りの「ぶち景観」、景観づくりに取り組む人々の活動レポートなどを写真とともに紹介する景観情報誌「景観」。

❖市民編集員の手により企画から取材、編集までが行われている、市民のための情報誌です。

❖自分たちの身近な景観や活動が紹介されることで、景観への気付きや取組みへのやる気と更なる意識向上が期待できます。

詳細

○対象：市民

○内容：市内の魅力的な景観や景観形成に取り組む市民の活動の紹介等で構成された冊子。

○概要

- ・発行開始年：平成10年度
- ・発行頻度：開始から5年間は年1回、その後は2年に1回。
- ・企画・編集：市民編集員が、編集会議と現地取材により行っている。
- ・体裁：A4判カラー、20頁前後（各号により異なる）。
- ・配布方法：創刊号から第3号まで全戸配布。その後は、市内主要施設で無料配布。
- ・発行部数：創刊時 45,000部、現在 10,000部
- ・内容：編集委員の合意による提案を受け、行政決裁により決定する。



●「景観」第7号（2006年）

- ・ひと・もの・ときの交差点 街道クロッシング
- ・私だけが知っている、とっておきの場所 ぶち景観みつけた
- ・講評 第9回上越市景観デザイン賞
- ・まちは舞台！みんなが主役！ 景観セミナーのお知らせ



●「景観」第5号（2003年）

- ・歴史のおくりものと暮らす
- ・講評 第8回上越市景観デザイン賞
- ・座談会 温故知新に学ぶ
- ・みつかるかな宝物 子どもまちなか探検隊



●「景観」第4号（2002年）

- ・歩けばわかるまちなみの魅力 みちとの遭遇
- ・講評 第7回上越市景観デザイン賞
- ・座談会 上越青春ものがたり
- ・何代にもわたって守り育てた緑の島 鎮守の森





❖市内の様々な風景の紹介や、住宅や商業建築物を建てる際の「作法」について、市民に向けて広く紹介している「かりや景観ればと」。

❖冊子は市内全戸に配布され、市民一人ひとりが情報を共有することで、「景観」の視点を広げ、市民の手による都市景観づくり活動や、美しい都市景観の創出につながっていくような、基礎づくりがなされていきます。

詳細

- 対象：市民
- 内容：市内の様々な風景の紹介や、景観形成に対する配慮点の解説、市民の景観形成活動の紹介等で構成された冊子。

概要

- ・発行開始年：平成9年度より。
- ・発行頻度：年に1〜2回。
- ・発行部数：約4万8千部。
- ・体裁：A4判カラー、2〜4ページ。
- ・内容：毎号1つのテーマを設定し、解説や紹介を行う。
- ・テーマ：橋のある風景、工場地の風景、住宅編、あなたの好きな風景、かりや景観づくり講座等、市担当者と委託業者との打合せにより、毎年ごとに決定する。
- ・配布方法：シルバー人材センターへ委託し、市内全戸に配布。その他、市役所玄関や情報コーナー、都市計画課で配布。

●冊子の様子



テーマ「商業建築物編」：店先の演出や建物形状など、「商業建築物の作法」を解説  
(vol.9 平成14年3月発行)

テーマ「かりや景観づくり講座」：親子で取り組んだ景観マップ作りの様子を紹介  
(vol.13 平成17年3月発行)





❖自然・歴史・生活が融合した、魅力的な景観を創りだしているものを、出来上がった建築物にとどまらず、その景観づくりに努めている個人や事業者、活動も対象として表彰します。

❖市民に、優れた景観とはどういったものであるのかの理解・関心を高めるとともに、良いモノを良いと表彰することで、優れた景観を生み出すことの意義ややりがいを創りだしています。

詳細

- 対象：市内の快適で魅力ある景観づくりに努めている個人や団体の活動、建築物など
- 目的：優れた景観づくりを表彰することで、魅力ある景観への理解を深め、それらを生み出すことのやりがいをつくる。

○内容・特徴：魅力あのある景観づくりに努めている個人や事業者、団体の活動、建築物などを表彰する。

○第5回実施概要

- ・開始年：平成13年度より。
- ・募集対象：①周囲の景観との調和に配慮した建築物等。  
②景観づくりに関する自主的活動を実践する個人や団体等。  
③廿日市市らしい優れた景観等。  
④その他この賞の趣旨に沿うもの。  
(以上、全て市内に限る。自薦、他薦を問わない。)
- ・募集期間：10月2日から12月15日。
- ・募集方法：応募用紙と写真を、都市計画課へ郵送又は直接提出。応募用紙は、市役所や市役所支所、市内の公民館等で配布。市のHPにも掲載。
- ・審査・表彰：学識経験者等により構成される市の景観づくり委員会が審査を行う。受賞者には、表彰状等が贈られる。

●過去の受賞作品



第2回 大賞  
「廿日市郵便局」  
建物を低層とし、植栽を配したことで、明るく開放的な空間をつくり出している。



第4回 大賞  
「ざらりい宮郷」  
江戸末期に建てられた町家建築を改装したギャラリー。文化創成と芸術活動の拠点となっている。



第5回 大賞  
「癒しの灯籠」  
連絡船の灯りが海面ににじみ、たゆたう様を表現し、幻想的な空間をつくり出している。





❖魅力ある都市景観づくりに貢献した建築物等の所有者と設計者、そして活動団体を表彰します。

❖市民に対し、「良い都市景観」とはどのようなものであるかといった理解や関心を高めるとともに、「良い景観」や「魅力ある街並みづくり」を誘導することが期待される建築物を設計・施行してもらいます。

❖表彰することで、市民のやる気アップを目指しています。

詳細

- 対象：市内の都市景観の形成に貢献していると思われる建築物や街並み、活動団体。
- 目的：「良い都市景観」への理解を深めるとともに、「良い都市景観づくり」を誘導する建築物の設計を促す。
- 内容・特徴：優れた都市景観の形成に貢献した建築物の、所有者と設計者を表彰する。

○平成 19 年度募集概要

- ・募集対象：①「美しい景観をまもりま賞」  
市内にある歴史・文化的な建築物、庭園、門、塀、いわれのある樹木、碑などで形態が良好に維持管理されているもの。
- ②「美しい景観をつくりま賞」  
市内にある、概ね過去3年以内に完成したもの（建築物、屋外広告物、庭園等で、自然の景観や歴史・文化的な風景と調和しているもの。
- ③「美しい景観を育てま賞」  
市内で活動していて、概ね過去2年以上継続して活動しているもの。
- ・募集期間：平成19年7月23日～平成19年9月10日。
- ・募集方法：推薦又は応募。応募用紙を、市のHPからダウンロードしメール送信、又は公共機関等の窓口においてある募集要項（応募はがき）を利用し直接又は郵送で提出。
- ・審査：延岡市都市景観審議会の審査により決定。
- ・表彰：所有者に対しては賞状と記念品が、設計者に対しては賞状が贈呈される。

●過去の受賞作品



平成 15 年度受賞作品



平成 16 年度受賞作品



平成 17 年度受賞作品

## 様々なデザイン分野から都市景観を考える

No.16

さっぽろ市民カレッジ「まちづくりのデザイン～札幌の風景・光景を考える～」 北海道札幌市



❖複数のデザイン分野から都市景観について考える市民カレッジ講座「まちづくりのデザイン～札幌の風景・光景を考える～」。

❖参加者は、建築設計、プロダクトデザイン、住居学、視覚伝達デザイン、色彩学、デザインマーケティング、都市計画などの専門家5人による、連続6回の講義を通じて景観を総合的に学びます。

❖各自の興味や関心を入りに、景観まちづくりについて考えるきっかけになります。

### 詳細

○対象：札幌市民または、札幌市内に勤務している方（受講定員 50 名）

○目的：21 世紀を見通した都市景観の在り方が問われている中で、複数のデザイン専門分野から立体的にアプローチして札幌の都市景観を総合的に考えることを通じて、景観に対する市民意識の高揚を図る。

○内容・特徴：教育委員会所管の生涯学習総合センターが主催する市民カレッジで開講された講座。複数のデザイン分野の専門家が講師を務め、連続 6 回の講義を通じて、デザインの視点から札幌の姿を捉える。

○実施概要（※現在は実施されていない）

- ・ 日時：平成 13 年 10 月に全 6 回開催、各日とも 19 時から 20 時半
- ・ 費用：受講料 1,000 円
- ・ 募集方法：生涯学習総合センターの HP や講座案内のチラシ配布により募集
- ・ 実施体制：札幌市立高等専門学校の教授及び助教授（計 5 名）が講師を担当した。各講師の専門は、建築設計・プロダクトデザイン、建築計画・住居学、視覚伝達デザイン、色彩学・デザインマーケティング・デザインマネジメント、都市計画。
- ・ 教材等：各回の講師が作成したスライド等を使用

○カリキュラム概要

回	日程	テーマ
1	10月11日（木）	序論：景観の意味
2	10月16日（火）	都市空間構造がおよぼす景観の特質
3	10月18日（木）	街角建築と街路空間の構成
4	10月23日（火）	街と広告
5	10月25日（木）	色彩の相対性と効果
6	10月30日（火）	都市の個性-札幌とニューヨーク

（\*時間は各回とも 19 時から 20 時半）



『札幌の風景・光景・景観を考える』  
（講座終了後に発行された冊子で、  
各回の講義概要が収録されている）



# スケッチから始めるまちづくり！

No.17

まちづくり講座 ～街並みスケッチ編～ 三重県桑名市



❖まちの魅力的な風景や、残したい素敵な風景を題材に、街並みスケッチの描き方を学ぶ「まちづくり講座 街並みスケッチ編」。

❖参加者は、まちの風景の見方や街並みスケッチの描き方を学んだ後、実際に屋外に出てスケッチを行います。彩色を行い完成した作品を発表し合い、講師の講評も受けます。

❖街をじっくり見つめることで、身近な街並みの良さを発見する目が養われ、街を魅力的にするアイデアを持った市民が生まれます。

## 詳細

○対象：高校生以上（まちづくりに関心のある方、定員 20 名）

○目的：自分たちの住むまちについてもっとよく知りたい、この風景を残したいと考えている人に対して、街並みのスケッチを描く機会を提供することにより、風景やまちについてより深く考え、まちづくりに取り組むきっかけとする。

○内容・特徴：街並みの風景を簡単なスケッチで描く手法を学ぶ 2 日間の講座。1 日目は、風景の見方やスケッチの描き方を学んだ後、屋外でスケッチを行う。2 日目は、ペン入れや彩色によりスケッチを完成させる。その後、各参加者が自分の作品を発表する。

## ○実施概要

- ・日時：平成 17 年 10 月 2 日(日)・8 日(土)の 2 日間、両日とも午前 9 時から 12 時
- ・場所：公民館会議室
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌及び HP で参加者を募集
- ・実施体制：環境デザイナー及びスケッチの専門家（パースレンダラー）が講師を務める
- ・教材等：講師が作成したパワーポイントを使用

## ○スケジュール

1 回 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・まちの風景の見方：書籍『まちづくり極意くわな流』を使いまちの風景の見方を解説</li><li>・スケッチの描き方：講師が描いたスケッチを用い制作過程と描き方を解説</li><li>・野外スケッチ：屋外で実際にスケッチを行う</li></ul>
2 回 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・野外スケッチの仕上げ：第 1 回で描いたスケッチに、ペン入れや彩色を行い完成させる</li><li>・発表会：各参加者が自分の描いたスケッチを発表し、講師が講評を行う</li></ul>



↑講座で使用したパワーポイントの一部



↑風景の見方、スケッチの描き方の解説



↑野外スケッチ



↑スケッチの仕上げ



↑発表会

\* 『まちづくり極意 くわな流』とは、市職員やまちづくりの専門家、市民によって制作された、桑名のまちやまちづくりを紹介する書籍。当講座は、この本の制作に関わったメンバーの発意によって実施された。



❖ただ聞くだけ、ただ見るだけではなく、専門家から話を聞くことと歩いてみることをセットにして、自分たちのまちの中に眠っている歴史的資産に目を向け、その価値を再評価することを目指しています。

❖歴史ある港町らしい建築や民家を題材に、講演と見学会が行われます。

❖そして、それらがまちづくりの資源であることに気づき、保全と活用に積極的に取り組んでいくことにつながるのです。

詳細

○対象：市民

○目的・内容：市内に残る歴史的資産の価値を広く知ってもらい「歴史を生かしたまちづくり」事業の趣旨を、市民、所有者、企業に普及していく。

○実施概要

- ・主催：横浜市、横浜市歴史的資産調査会
- ・募集方法：往復はがき、E-mail（応募者が多い場合は抽選）
- ・費用：参加費用、教材費。
- ・形式：講師による講演（45分程度）＋ガイドツアー（2時間程度）。
- ・期間：平成元年3月から平成19年3月まで、不定期に30回開催。
- ・内容：近代建築や民家など、市内の歴史的資産を取り上げる。

No	年月	タイトル	講演テーマ/セミナー内容	現地見学
1	H1.3	港周辺の近代建築	近代建築の楽しみ方 函館の歴史的建造物とまちなみ	関内地区の近代建築
6	H3.3	茅葺き民家とその暮らし	旧横溝住宅の保存と横浜の古民家 民家にみる日本の暮らし	横溝屋敷
16	H8.6	来て・見て・感じて！ -西洋館の移築復元-	建物の特徴と保全改修工事について	保全改修工事現場
19	H11.12	緑の中の歴史的建造物を 訪ねよう～バスで巡る近代 建築・古民家見学ツアー～	長浜ホール・横浜検疫所1号停留所	長浜ホール
			舞岡公園古民家（旧金子家住宅） お話：舞岡公園を育む会	1号停留所 旧金子家
24	H14.3	港ヨコハマの知られざ る魅力～土木遺産編～	写真家が見た土木遺産を港の魅力	横浜情報文化センター～開 港の道～新港橋梁～赤レン ガ倉庫
			横浜の開港を支えた土木遺産	
30	H19.3	横浜三塔物語	横浜三塔物語	神奈川県庁本庁舎・横浜税 関・開港記念会館



平成19年開催 「横浜三塔物語」実施の様子



❖市民が気軽に取り組めるガーデニングについて、専門家から知識や技術の講習会を実施しています。

❖講座を受講した市民が、それぞれの家でガーデニングを広げていくことによって、それが繋がって街並みが心地よくなったり、オープンガーデンが開催されるようになったりと、「活気にあふれ」「緑にあふれ」「花かおる」まちづくりが展開されることが期待されます。

詳細

○対象：市民

○目的：講座を受講した市民がガーデニングを行うことで、「活気にあふれ」「緑にあふれ」「花かおる」まちづくりを推進する。

○内容・特徴：「きよさと花・みどりフェスタ2007」での事業の一環として開催。景観に配慮したガーデニングについて、基礎知識について実習を含めた講義を実施し、基礎的なテクニックから実践までの講習を行う。プランターやハンギング（バスケット）の作成、適した花の選定など

○実施概要

- ・回数：年数回開催。
- ・講師：造園等の専門家
- ・募集方法：清里町広報による周知。
- ・費用：実費（材料費）



講習会



花めぐりツアー



児童による花栽

自治会の女性部のメンバーと小学生により、通学路の道路植樹帯に花栽を行っている。

●きよさと花・みどりフェスタ2007概要

商店街や店先でのガーデニングを楽しんでもらうとともに、コンサート等多くのイベントが開催される。

期間：6月1日～9月30日

企画：

花とみどりの潤いのまちづくり

自治会花壇、フラワードの設置／オープンガーデン、ガーデンマップの作成／ガーデンコンテスト

緑の植栽事業

技術の向上と花とみどりのまちづくりリーダー養成

フラワーマスター活動支援とフラワーガイド育成／ガーデニング講習会／ガーデンアドバイス事業の実施





❖景観の専門家と一緒にまちを歩きながら、区民が自分たちのまちの景観をチェックする「まち並みウォッチング」。

❖普段見慣れたまち並みも、意識して見直してみると、気になる点がたくさんあります。‘わがまち’の理想の姿を思い浮かべながら景観を評価していくうちに、高い景観意識が芽生えていきます。

❖そんな参加者から出された意見には、今後の景観づくりのヒントが詰まっています。

詳細

○対象：区内在住・在勤・在学者（定員 30 名）

○目的：区民の目線で景観を評価してもらうことで、区民が景観について考えるきっかけとすると共に、行政は、参加者の意見や要望を今後の景観施策の参考にする。

○内容・特徴：参加者は、講師の説明を聞きながら、定められたルート歩き、与えられた評価項目に沿ってまちの景観を評価する。過去のチェックポイント例は以下の通り。

- ・平成 18 年度：「周辺との調和」をキーワードに、橋や橋からの眺望、道路舗装のデザインや歩きやすさ、ビル壁面を利用した広告デザイン等を、参加者が評価する。
- ・平成 19 年度：区の「景観事前協議制度」の対象となった中高層建築物等を見ながら、外壁の色や植栽、駐車場やゴミ集積所の作り方等について、参加者が評価する。

○実施概要

- ・日時：毎年 1 回、5 月の日曜日の午前 9 時から正午
- ・場所：区内の 3km 程度のコース
- ・参加費用：無料
- ・実施体制：講師 1 名、行政職員 2～3 名
- ・教材等：ルートやチェック地点の写真、評価項目をまとめた冊子と、評価を記入するチェックシートを配布



配布資料



まち並みウォッチングの様子

○当日のスケジュール概要

9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集合</li> <li>・ 文京区挨拶</li> <li>・ 講師挨拶</li> <li>・ コース及びチェックシートの記入方法についての説明</li> </ul>
9:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出発</li> </ul>
11:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文京区挨拶</li> <li>・ 講師挨拶</li> <li>・ チェックシート回収</li> </ul>
12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解散</li> </ul>

(評価項目の例)

- 交差点周辺の建物は、高さや色彩などの調和がとれているか？
- 周辺のまち並みと新築建物の高さや外観は調和しているか？
- 広告物の大きさ、色彩は、建物と調和しているか？
- 駐車場、ゴミ集積所などは見苦しくない工夫がされているか？
- 周辺のまち並みと歩道舗装のデザインは調和しているか？
- 街路灯のデザインは境界のイメージと調和しているか？

参加者は、各チェック地点で、このような評価項目について、[とても良い/良い/普通/悪い/とても悪い]の5段階で評価する。

# 風景マップの作成を通じて美しいまちの実現を考える！

No.28

いせさき風景探偵団 群馬県伊勢崎市



❖良い風景や気になる風景を探しながら、市民の視点から今後の景観まちづくりについて考える「いせさき風景探偵団」。

❖参加者は、まちの風景について情報交換や意見交換をしながら、まちの魅力を集めた「風景マップ」を作成します。また、目指す風景の実現に向けて、行政と事業者、市民の役割分担についても考えます。

❖参加した市民の中から、景観まちづくりのリーダーが生まれることが期待されます。

## 詳細

○対象：市民

○目的：市民の視点から、「守っていききたい風景・景色」や「良好な景観づくりのために必要なこと」を検討する。検討結果は、今後の景観まちづくりに活用していく。

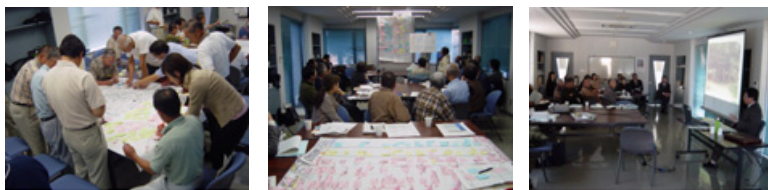
○内容・特徴：公募で集まった市民メンバーが、まち見学や意見交換を行いながら、良い風景および良くない風景を抽出し、「風景マップ」を作成する。それを元に、今後どのような風景や景色にしたいか、どのような取り組みをしていくべきかを考え、提案する。

### ○実施概要

- ・ 日時：平成17年9月から平成18年1月までに計6回開催  
各回とも土曜日の13時開始、2時から2時間半程度
- ・ 場所：いせさき市民のもり公園管理事務所会議室
- ・ 参加費用：無料
- ・ 募集方法：市広報誌やHPで募集
- ・ 実施体制：専門家の講師3名、市職員5名程度
- ・ 教材：市内の地図や写真、景観法の資料等を配布



作成された「風景マップ」：眺め・眺望ポイントや、まちなみポイント等が記されている



活動の様子（左、中）と、講演の様子（右）

### ○全体の流れと各回の概要

現況確認		取り組みの方向の検討		取り組みと役割分担の検討	
第1回 (9/3)	第2回 (9/17)	第3回 (10/15)	第4回 (11/12)	第5回 (12/10)	第6回 (1/28)
○市内の良い風景・良くないと感じる風景について意見交換	○市内風景見学会(特徴的なポイントを互いに紹介する)	○残したい風景の確認 ○景観まちづくりの方向や取り組みについて意見交換	○市民団体の講演 ○景観まちづくりの取組と、市民・行政等の役割分担について意見交換	○残したい風景の確認 ○景観まちづくりの取組等の確認	○報告書提出 ○景観プランナーの講演



# ビンゴゲームでまちの景観探し！

No.29

親子景観セミナー「親子で探検・鎌倉の魅力」

神奈川県鎌倉市



- ❖ビンゴゲームを楽しみながら、親子でまちの景観を探して歩く「親子景観セミナー」。
- ❖「自然の音」、「丸い石」、「石垣」、「平屋建て」など、与えられたキーワードにぴったりの景観や景観要素を探して歩きます。夢中でゲームを楽しみながら、普段とはちょっと違った視点でまちを観察しているうちに、まちの魅力に気がつきます。
- ❖まちの景観について、親子の会話も弾んできます。

## 詳細

○対象：市内の小学校の3～6年生の児童とその保護者（定員30組）

○目的：将来のまちづくり、景観づくりの担い手となる子どもたちとその保護者を対象に、まちの個性をつくり出している風景や建物を見学してもらうことで、景観に対する関心を高める。

○内容・特徴：景観上重要な建物やまちの歴史について、職員が説明を加えながらまち歩きを行う。一つのルートを往復するコース設定になっており、行きは「自然景観」をテーマに、帰りは「人工景観」をテーマに、「しぜんの音」、「木の実」、「平屋だて」、「石がき」等を探す「けいかんビンゴゲーム」に挑戦してもらいながらまち歩きを行う。

## ○実施概要

- ・日時：毎年1回開催（11月）、10時から12時
- ・場所：市内の約3kmのコース
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市内の小学校に案内を配布、市広報誌にも案内を掲載
- ・実施体制：行政職員6名
- ・教材等：参加者には、まち歩きのコース紹介資料、ビンゴゲームで使用するシート、参加賞の他、持ち帰って読んでもらうための、市の景観施策を紹介した資料を配付。



「けいかんビンゴゲーム」のシート：上が自然景観、下が人工景観。中央のマスには、参加者が見つけた「たいせつなもの」、「すきなふうけい」を記入する

## ○当日のスケジュール（例）



「旧華頂宮邸」前に集合。スケジュールや「ビンゴゲーム」のルール等を説明したら、まち歩きに出発。



職員の説明を聞きながら、まち歩き。ビンゴゲームを楽しみながら、周囲の景観に気を配ります。



「旧華頂宮邸」に戻ってきたら、自分が見つけた「大切なもの」、「好きな風景」をポストイットに記入して提出し、「旧華頂宮邸」を見学。その後、みんなの「大切なもの」、「好きな風景」を発表し、参加賞を渡して解散。



# こどもの視点でまち並みレポート！

No.30

こどもまち並み観察隊 群馬県桐生市



❖子どもたちが、カメラを手にまちを自由に歩き、独自の視点でまち並みについてレポートする「こどもまち並み観察隊」。

❖夏休み期間中、普段はなかなか訪れない地域まで足を伸ばし、まちをじっくり観察すると、今まで気がつかなかったまちの魅力を発見するきっかけになります。

❖子どもたちが悪戦苦闘してまとめたレポートは、大人にとっても、まち並みを見直すきっかけになります。

## 詳細

○対象：市内の小学校に通う5、6年生（定員30名程度）

○目的：明日のまちを担う子どもたちに対して、都市景観への関心と理解を図ると共に、子どもたちの視線から見たまち並みの「良いところ」、「好きなどころ」等を公表することで、広く市民の都市景観形成への理解と協力を推進する。

○内容・特徴：小学校5、6年生が、2～3名1班で「こどもまち並み観察隊」を結成する。隊員の子どもたちは、夏休み期間中にまち観察を行い、支給された使い捨てカメラでまちの「良いところ」や「好きなどころ」等の景観を撮影し、感想や意見を加えてレポートを作成する。活動成果は、市役所玄関ロビーで市民に公表される。

## ○実施概要

- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌、新聞紙面に募集案内掲載
- ・実施体制：市職員の他、活動成果のまとめの際には、地元学生がアドバイザーを務める
- ・教材等：参加者には使い捨てカメラを支給



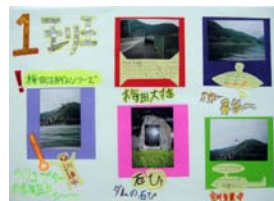
観察活動の様子



活動成果のまとめ・レポート作成の様子

## ○実施スケジュール（平成18年度の例）

月日	事項（場所）
6/1～6/30	隊員募集
7/24	参加者説明会（市役所会議室）
7/24～8/7	観察活動期間
8/7	活動成果のまとめ、レポート作成（市役所会議室）
8/16～8/31	第1回展示会（「有鄰館・塩蔵」多目的スペース）
10/2～10/13	第2回展示会（市役所玄関ロビー）



活動成果の例



展示会の様子

# 歩いて、撮って、子どもまちなみ探検隊！

No.31

ジュニア景観士講座「子どもまちなみ探検隊」

北海道千歳市



- ❖子どもたちがまちを探検し、まちの特徴を探して歩く「こどもまちなみ探検隊」。
- ❖夏休みの2日間、子どもたちは一人ひとりがカメラを持って、自分の住むまちを探検します。まち並みを観察したり、気付いた点をマップにまとめたりすることで、景観の美しさやまちづくりの楽しさを知り、周りの景観を意識する心が育まれます。
- ❖修了者には「ジュニア景観士」の称号が与えられます。

## 詳細

- 対象：市内の小学校4～6年生（定員20名程度）。
- 目的：タウンウォッチングやまちづくりワークショップへの参加を通じて、都市景観の大切さやまちづくりに参加する意義を理解してもらい、景観形成に対する意識の高揚と公共心の育成を図る。

○内容・特徴：子どもたちは、市の景観アドバイザーの指導のもと、カメラを持ってまちなみ探検をする。その後、探検で感じたことやまちの特徴などを「まちなみマップ」にまとめ、発表会を行う。講座修了者には「ジュニア景観士」の認定証が発行される。成果物は、後日、市役所ロビーで展示される。

### ○実施概要

- ・日時：夏休み期間中の2日間、9時半から15時
- ・場所：市役所及びその周辺
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌やHPで募集
- ・実施体制：市景観アドバイザー2名、市職員5名程度
- ・教材等：参加者には使い捨てカメラを支給



まち観察の様子



「まちなみマップ」作成の様子



発表会の様子



### ○当日のスケジュール（平成18年度の例）

#### 【1日目】

9:30～10:00	開会式・作業説明
10:00～10:15	移動
10:15～11:45	駅から市役所の周辺を観察
11:45～12:45	昼食
12:45～15:00	個人でまちなみマップ作成

#### 【2日目】

9:50～11:30	川沿いの遊歩道の観察、河川事務所展望台から観察
11:30～12:30	昼食
12:30～14:00	グループでまちなみマップ作成
14:00～15:00	発表会・修了式



「まちなみマップ」の作品例



# 理想のまちを巨大な模型で表現！

No.32

ふじさわこどもまちづくり会議

ふじさわこどもまちづくり会議実行委員会



❖子どもたちが2日間をかけて、将来住んでみたい理想のまちを考える「ふじさわこどもまちづくり会議」。

❖子どもたちは、まちを歩いて良いところや問題点を探したり、地域の大人からまちの歴史の話の聞いたりしながら、未来のまちの姿を話し合い、大きな模型で表現します。

❖みんなで力を合わせてやり遂げた楽しい思い出と共に、まち並みやまちづくりに興味を持つきっかけとなります。

## 詳細

○対象：市内在住の小学生、中学生（定員30名程度）

○目的：未来を託す子どもたちに、自分たちの生活するまちの成り立ちと、まちづくりとは何かを考えるきっかけを提供することによって、自分たちの住むまちについて興味を持ってもらう。

○内容・特徴：子どもたちは、クイズ形式のチェック項目に沿ってタウンウォッチングを行い、身近なまちの自然環境や街並みを体感する。その後、グループディスカッションなどを通じてまちの良いところや悪いところを話し合い、自分たちが住みたい未来のまちの姿を考え、都市計画模型（大きさ3畳程度、縮尺1/500）を製作して提案する。毎年1回、市内の1地区で開催され、平成19年度で10回目を迎えた。

### ○実施概要

- ・日時：11月の土日の2日間、9時半から16時
- ・場所：市役所会議室などの、地域の公共施設で開催
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：HPで募集する他、学校を通じて案内を配布
- ・実施体制：参加する子どもとほぼ同数の、社会人及び学生がボランティアスタッフとして参加する
- ・教材等：まちや街並みに関するチェック項目や、地図、昔の写真等が掲載された『探検手帳』を配布する
- ・模型材料：段ボールや色紙等を用意する他、参加者が家庭の不要品（プラスチック容器等）を持参する



こどもまちづくり会議：タウンウォッチングで感じた点をグループで話し合い、結果を発表する



模型製作：駅前、自然、建物という役割分担に沿って、スタッフの助けを借りながら模型を製作する



模型を使ったワークショップ：製作途中の模型を並べ、目当たりや住み心地などの視点を投げかけながら、子どもの意見で、建物の配置などを決めていく



完成した模型：1.8m×3.3m程の大きさ

### ○当日のスケジュール概要

1 日 目	9:30～10:00	自己紹介・親睦会
	10:00～12:30	タウンウォッチング
	13:10～15:00	こどもまちづくり会議（タウンウォッチングを踏まえ、まちづくりのアイデアを話し合い）
	15:00～16:00	模型製作
2 日 目	9:30～15:00	模型製作・ワークショップ（途中で3回、制作中の模型を見ながら、全体の配置、不足しているものなどを話し合う）
	15:00～16:15	こども会議（完成模型を見ながら意見交換）



# まち並みや景観施策を学ぶ出前講座！

No.33

もりおかまちづくり出前講座 –もりおかの都市景観– 岩手県盛岡市



- ❖市民の要請を受けて行う、まちの景観や景観施策を紹介する「景観出前講座」。
- ❖市民にとって、普段はあまり馴染みのない行政の取り組みを知ることが出来る機会です。まち並みを支えている制度を知ること、身近な地域を見直し、自分に出来る役割を考え直すきっかけにもなります。
- ❖講師を務める市の職員にとっても、市民の素朴な意見や疑問を聞くことが出来る、貴重なチャンスです。

## 詳細

- 対象：市内在住・在勤の、概ね10人以上で構成されるグループ等。
- 目的：まちの景観と施策の紹介を通じて、身近な景観に対する意識を持ってもらう。

○内容・特徴：市の事務や事業、制度についての学習機会を提供する出前講座の一つとして実施されている。希望者に対して、まち並みや都市景観、景観施策について紹介、解説する。

### ○実施概要

- ・日時：派遣要請があり次第随時、1時間半程度。
- ・費用：講師料は無料、会場は利用者が確保する。
- ・実施体制：市職員が講師を務める。
- ・教材等：説明にはパワーポイントを使用する他、「都市景観形成ガイドライン」や「都市景観賞」等のパンフレットを配布。

### ○スケジュール (例)

時間	内容
20分	挨拶、景観とは
30分	盛岡の都市景観について、「都市景観形成ガイドライン」の説明
10分	休憩
10分	都市景観についての意識調査(アンケート実施)
35分	都市景観賞の紹介、過去の受賞作品の紹介
5分	質疑応答、補足説明

\*スケジュールは、年度や利用者の希望により異なる。

### ○その他

- ・「もりおかまちづくり出前講座」では、上記講座の他、景観に関係の深いものに、「玉山区のふるさと景観」、「あのなっす盛岡の都市計画」、「街に残る歴史的建造物」、「花と緑のまちづくり」等がある。



講座で使用したパワーポイントの一例

# 景観まちづくりの施策や考え方を学ぶ景観出前講座！

No.34

生涯学習出前講座「あびこの景観」

千葉県我孫子市



- ❖市民の要望に応じて、景観まちづくりの施策の紹介を行う出前講座「あびこの景観」。
- ❖講義形式で、市内の良好な景観や、市の景観行政の歩み、その時々重点的な取り組みについての紹介や解説を行います。市民が景観形成に取り組む際の基本的な考え方や配慮点も紹介します。
- ❖行政の景観施策に対する市民の関心や理解が深まり、景観まちづくりに主体的に取り組む市民が生まれることが期待されます。

## 詳細

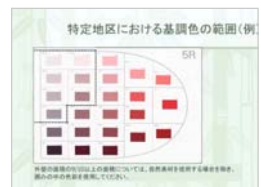
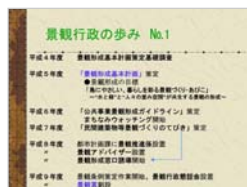
○対象：市内在住・在勤・在学の、10人以上の団体・グループ

○目的：景観に対して一定の興味・関心を持っている人や、歴史・文化や自然環境の保護・保全等に興味がある人に、景観について学習してもらう。

○内容・特徴：市役所各課の取り組みを紹介する「出前講座」の一環として行われている。景観の基礎知識や、市民・事業者・行政による景観づくりについて紹介、解説する。

## ○実施概要

- ・日時：市役所との相談により決定。
- ・場所：申込者が確保した、市内の会場。
- ・費用：講師料は無料、会場費等は申込者が負担。
- ・実施体制：行政職員が講師を務める。
- ・教材等：講義ではパワーポイントを使用。



## ○講座の主な内容

- ・【我孫子にとっておき】：我孫子市景観賞を受賞した場所や活動の紹介等
- ・【我孫子市の景観行政】：市の景観行政の歩み、景観形成の目標や基方針の紹介等
- ・【色彩景観ガイドライン】：色彩の表し方、特定地区（景観形成重点地区等）における基調色の紹介等
- ・【道路きわ緑化景観づくり】：道路きわの緑の役割、道路きわ景観づくりの捉え方の紹介等
- ・【景観法制定、景観計画と景観条例】：景観法や景観計画の紹介等
- ・【景観行政の現在】：電線地中化の取り組み、世界の都市の景観の紹介等



講義で使用したパワーポイントの一例

## ○その他

- ・上記の他、景観に関係が深い出前講座として、「都市計画マスタープランってなに？」、「住む人が作る地区計画」、「区画整理とは？」、「あびこの公園とみどり」等がある。



## 専門家から学んでまちを体験！

No.35

個性豊かな住環境づくり事業「住まい・まち体験学習」 大阪府八尾市



- ❖総合的な学習の時間で実施される「住まい・まち体験学習」。
- ❖市の職員や地元の建築家など、建築や都市計画、景観の専門家が講師を務めます。普段は気がつかない身近な地域の構成要素や生活を支える様々なものの仕組みから、わがまちの歴史、世界各地の風景や暮らしの様子まで、幅広く学べます。
- ❖講義やフィールドワークを通じて、まちを体験しながら学べる授業です。

### 詳細

○対象：小学生（総合的な学習の時間で実施）

○目的：住まいやまちづくりをテーマにした授業を実施することにより、小さいころから住まいやまちに興味を持ってもらう。

○内容・特徴：総合的な学習の時間で実施する出前授業。建築や都市計画、景観の専門家が講師を務め、住まいや建物、まちに関する様々な内容について授業を実施する。

### ○実施概要

- ・日時：2時間程度の授業を各学期に1回、計3回程度実施。実施日時は学校と相談して決定。
- ・募集方法：市内小学校校長の全体会議で募集をかける。
- ・実施体制：市都市計画課と、NPO法人八尾すまいまちづくり研究会の協働で実施（主催：八尾市、企画・運営：NPO法人）。
- ・教材等：NPO法人八尾すまいまちづくり研究会が作成。

### ○実施例

【対象：北山本小学校3年生（平成16年度実施）】

回（実施日）	概要
第1回 （6月10日）	【テーマ：健康と安全】街にある身近なものを発見することを目的に、子どもたちは数人のグループでまち歩きを行い、デジタルカメラ等を使いながら見つけたものを記録する。
第2回 （12月21日）	【テーマ：いろいろなまち探検】スライドを使用して、様々な地域の暮らしや建物を紹介する講義を行う。
第3回 （1月13日）	【テーマ1：校区の昔】スライドを使用して、学校がある地域の過去を辿っていく講義を行う。 【テーマ2：給水塔の仕組み】実演を交えて、地域の団地の中央にある給水塔の仕組みを解説する。



様々な地域の暮らしや建物の紹介（上）、給水塔の仕組みを解説（下）【北山本小】

【龍華小学校5年生（平成17年度実施）】

実施日	概要
7月12日	【テーマ：たんけん たんけん 探検 探検するぞ!】自分の住んでいる地域でまち歩きを行い、見つけたものを、「気に入ったところ」、「ずっと残しておきたいところ」、「みんなに紹介したいところ」、「その他」に分類して記録し、学校に帰ってから感想をまとめる。



まち歩きの様子【龍華小】



# みんなでまちなみ景観計画作成に挑戦！

No.36

小・中学校景観出前授業 高知県・高知県高知市



- ❖総合的な学習の時間を利用して実施される「小・中学校景観出前授業」。
- ❖日本や海外の美しい景観や、景観の構成要素などを学んだ後、まち歩きによって地域の良いところや悪いところを探します。まち歩きでの発見を元に、地域のまちなみの写真を使って検討しながら、理想の景観の在り方や、実現に向けた方策を考えます。
- ❖クラスみんなで取り組んだ成果として、大きなまちなみ景観計画が完成します。

## 詳細

- 対象：小・中学校の児童・生徒（総合的な学習の時間で実施）
- 目的：これからの社会を担う小・中学校の児童生徒が、身近な地域の景観を意識する機会を設け、景観やまちづくりに関心を持ってもらうとともに、児童生徒の保護者や地域コミュニティに対し、景観に対する意識の啓発を図る。

○内容・特徴：小・中学校の児童・生徒を対象として実施する出前授業。屋外観察や地図作成などを交えた体験型の授業により、地域の景観要素を発見し、地域の景観を今後どうしていくべきかを考える。

### ○実施概要

- ・日時：小・中学校との相談により決定
- ・募集方法：教育委員会を通じて小中学校を募集
- ・実施体制：高知県高知市から特定非営利活動法人「高知まちづくり支援ネットワーク」に対して実施が委託される。実際の授業は、景観や都市計画の専門家（高知工科大学教授等）が行う。
- ・教材等：「高知まちづくり支援ネットワーク」が作成



まち歩きの様子

○カリキュラム概要（年度により異なる。下表は平成19年度の例。）

回 (時間数)	テーマと授業概要
第1回 (3時間)	◇建築と風景のデザイン～美しい建築物と風景を学ぶ～ ・日本や海外の美しい景観のスライドを使用し、美しい風景の構成要素やポイントについて解説する。
第2回 (4時間)	◇まち歩きとガリバー地図づくり～まち歩きをして地域を知ろう～ ・班でまち歩きを行い、地域の良いところ・悪いところを見つけて写真を撮る。写真と感想をガリバー地図（7m×5m）に貼り、発表する。
第3回 (4時間)	◇まちなみ景観計画づくり～まちの景観計画をつくらう～ ・地域の様々な景観の写真に木や花の絵を貼り、景観を変えてみる。その後、自分たちの住むまちの理想とする景観について、「場所」、「テーマ」、「課題」、「実施者」、「方法」を考えて景観計画をつくる。



まちなみ景観計画作成の様子



まちなみ景観計画発表の様子



❖学校教育と連携した景観教育として行っている「中学生のための景観教室」。

❖講義を通じて景観まちづくりの考え方や知識を学んだ後、屋外でのまちなみ観察や、まちなみ模型づくりに取り組みます。意識してまちなみを観察したり、各班で模型を作って並べたりするので、普段あまり気付かないさまざまなことに気がつきます。

❖知識と体験の両面から景観まちづくりについて学ぶ授業です。自分たちの住むまちについての理解も深まります。

詳細

- 対象：中学生（社会科の選択授業での実施が多い。）
- 目的：「景観」をテーマにした授業を学校教育の中にとりこむことにより、将来の景観の担い手である子供たちの景観に対する興味や関心を喚起し、自主的な活動を通じて知識の習得を図る。

○内容・特徴：市と学校が連携して行う授業で、生徒は、市都市景観課の職員による講義や屋外でのまちなみ観察（夏休みを利用）及び発表、模型づくり等を通じて、景観まちづくりの知識や考え方を身につける。その他、専門家（建築士など）による特別講義も行っている。

○実施概要

- ・ 日時：年間を通して、50分の授業を10～20回程度実施（年度により異なる）
- ・ 募集方法：毎年作成する実施報告書と共に全校に募集をかける
- ・ 実施体制：市都市景観課の職員と担当教諭により授業を実施
- ・ 教材等：講義で使用する資料は市都市景観課が作成。  
レンズ付きフィルム、模型材料は市が提供。



↑景観に関する講義の様子



↑まちなみ観察・調査の様子



↑まちなみ観察・調査発表の様子



↑模型製作の様子

○カリキュラム概要（年度により異なる。下表は平成18年度の例。）

時間	授業内容
1時間目	◇オリエンテーション ・ 授業の進め方、スケジュール等を説明 ◇まちづくりについて ・ 都市景観からのまちづくりについての講義
2時間目 3時間目	◇まちなみ観察・調査研究 ・ 学校周辺を歩き、気になった風景やまちなみを写真に撮る（一人1個レンズ付きフィルムを配布）
4時間目 5時間目	◇まちなみ観察・調査のまとめ、発表 ・ 各自が撮影した写真を利用して、各班でまちなみ観察の調査結果をまとめ、発表を行う
6時間目 ～ 8時間目	◇まちなみ模型づくり ・ 模型を製作する範囲を3区画に分け、3グループが1区画ずつ担当し、テーマを決めてまちなみ模型を製作する ・ その後、3グループの模型を繋ぎ合わせ、意見交換をしながら配置や修景等を改善する
9時間目	◇景観教室のまとめ ・ 各自の感想をまとめ、発表を行う

<http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/keikan/>（みやざきの景観まちづくりHP）

# 世界遺産登録を目指した景観づくり勉強会！

No.38

景観形成のための街づくり勉強会 群馬県富岡市



❖まちの歴史的遺産を世界遺産に登録することを目標に、周辺の景観のあり方を検討する「街づくり勉強会」。

❖まちの歴史や景観形成についての勉強会や、歴史的遺産を活用したまちづくりの先進地の視察等を通じて、「わがまち」の景観の、目標像が見えてきます。

❖世界に誇れるまちづくりを目指して、少しずつ、しかし確実に、景観に対する意識が育まれていきます。

## 詳細

○対象：市内外の住民

○目的：歴史的遺産を活用したまちづくりを進めるために、「旧官営富岡製糸場」の世界遺産登録を目標に、周辺部の景観形成について学習する。

○内容・特徴：講演会や先進地視察等を通じて、「旧官営富岡製糸場」の歴史的・文化的な価値や、歴史的遺産の活用方法、景観形成について勉強する。

### ○実施概要

- ・ 日時：毎月1回程度開催
- ・ 場所：商工会館、その他
- ・ 参加費用：無料
- ・ 募集方法：市広報誌やHPで募集
- ・ 実施体制：周辺地区の区長や商店街、各種団体の代表者で運営委員会を設置し、勉強会等を開催。



講演会の様子

### ○スケジュール

日時	内容
平成17年7月	第1回勉強会「富岡町の生い立ちと生糸産業」
8月	第2回勉強会「景観法とは」
9月	先進地視察（千葉県佐原市）
12月	第3回勉強会「歴史的景観を活かしたまちづくり」
平成18年3月	第4回勉強会「歴史的遺産と景観まちづくり」
	第5回勉強会「富岡市の街並みまちづくり」



先進地視察の様子

### ○関連する活動

- ・ 景観形成に向けた試験的作業「板塀作り」：街中に古くから残る住宅の特徴である板塀を試験的に作成し、今後の景観形成の参考にした。
- ・ 街並み景観シミュレーションの作成：現在の街並みを基に、電線類の地中化や道路舗装の変更、沿道建物の意匠変更等を模擬実験することで、「良い景観」「悪い景観」を考える。



試験的に作成された板塀



# 「まちなみ発見クラブ」メンバーがまちの景観情報を発信！

No.39

西宮まちなみ発見クラブ 兵庫県西宮市



❖セミナーでの学習や、まち並みの観察活動等、景観に関する各種の活動に取り組む「まちなみ発見クラブ」。

❖専門家による講義で景観の考え方や知識を身につけ、それを元に身近なまち並みを見直してみると、それまで気がつかなかった様々な街の魅力を発見できます。メンバー間での情報交換も、大切な学習の機会です。

❖メンバーによる活動成果は、「クラブ通信」や写真展によって、市民に発信されます。

## 詳細

○対象：市内在住、在勤、在学の16歳以上

○目的：まちの景観に関する情報の共有や意見交換を通じて、美しいまち並みづくりについて考えてもらう。

○内容・特徴：公募で集まった市民メンバーが、景観に関する各種の活動を行う。主な活動は、①市が主催するセミナーへの参加、②身近なまち並みに関する情報の収集・発信、③景観パネル展での活動内容の発表、の3つ。

### ○実施概要

- ・活動期間：メンバーの任期は1年間、活動は随時、セミナーは約2ヶ月に1回開催
- ・参加人数：約60人
- ・活動場所：市役所や公民館など、テーマにより市内各所で
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌、HP等で募集
- ・実施体制：セミナーは、内容に沿った専門家や市職員、メンバーの有志などが講師を務める
- ・教材等：セミナーでは、講演概要等の資料を配付



↑セミナーの様子



↑『まちなみ発見クラブ通信』

### ○各活動の概要（「第二期」（2006年9月～2007年8月）の例）

#### ・セミナー開催概要

回	日時	テーマ・内容
第1回	10月21日(土) 12:15～17:40	「西宮発見！-北部編-」：市域をバスと徒歩で散策し、まちの魅力を発見する
第2回	12月7日(木) 18:30～21:00	「まちの灯りを考える」：講演を聴き、駅前照明計画を見学する
第3回	2月22日(木) 14:00～16:30	「無電柱化のしくみと現状」：講演を聴き、共同溝や電柱を見学する
第4回	4月28日(土) 9:00～12:00	「夙川の魅力を探る」：夙川周辺を散策し、グループで景観特性図を作成する
第5回	6月29日(金) 13:30～16:10	「景観写真教室」：写真撮影のポイントを学び、屋外で写真撮影をし、作品紹介を行う



↑「景観パネル展」の様子

- ・会報『まちなみ発見クラブ通信』の発行：6回（発信情報やセミナーの結果について発信）
- ・景観パネル展の開催：「身近なまち」、「まちなかの自然」、「暮らしと歴史」などをテーマにメンバーが撮影した写真の展示（7月31日～8月12日に図書館で開催したほか、市内4ヶ所で巡回展示）

# 塗り替え実験により色彩の効果を実感！

No.40

建物の色がつくる美しい景観教室 神奈川県横須賀市



- ❖まち並みにおける色彩の重要性や、色彩による印象の違い等を体感できる「景観教室」。
- ❖参加者は、色彩の基礎的な知識や考え方を学んだ後に、実在する建物等を題材に色彩計画を立案します。可能な場合には、提案を元に塗り替え実験を行います。色彩計画の一連のプロセスを体験し、効果や影響を実感することで、色彩に対して高い意識を持った市民が育ちます。
- ❖活動成果を発表することで、市民がまち中の色彩に目を向けるきっかけにもなります。

## 詳細

○対象：市民及び市職員（定員 30 名）

○目的：色彩が景観に与える影響について学ぶ機会を提供することにより、市民が、社会環境としての建物の色彩計画に主体的に関わっていくきっかけを作る。

○内容：参加者は、色彩の表し方や、建物の色彩が景観に与える影響等についての講義を受けた後、グループに分かれて、実際の建物等を題材に色彩調査や色彩計画を行い、景観形成の考え方を学ぶ。可能な場合は、提案を元に塗り替え実験を行い、効果や影響を確認する。活動の様子は、後日、市役所の展示コーナーで紹介される。



講義の様子（左）、色彩調査の様子（右）

## ○実施概要

- ・ 日時：全 4 回開催、各回とも平日の午後
- ・ 場所：市役所会議室等
- ・ 参加費用：無料
- ・ 募集方法：①市広報誌で募集②市役所や市内の金融機関、市の都市景観協議会を通じて募集案内を配布③前年度教室修了生等に、ダイレクトメールを送付、の 3 通りの方法で参加者を募集。
- ・ 実施体制：市が「よこすか都市景観協議会」に実施を委託。色彩の専門家が講師を務める。

## ○各回のスケジュール（平成 14 年度の例）

時限	内容
第 1 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境色彩に関する講義（建物の色彩が景観に与える影響等）</li> <li>・ 色彩に関する講義（色彩の表し方等）</li> <li>・ 色彩調査の練習</li> </ul>
第 2 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塗装に関する講義（塗装の手順、塗料の種類等）</li> <li>・ 計画対象地の色彩調査</li> <li>・ 色彩調査の整理</li> </ul>
第 3 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象地の色彩計画づくり</li> </ul>
第 4 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成した色彩計画の発表</li> <li>・ 公共空間に面した色彩の考え方に関する講義</li> <li>・ 講評</li> </ul>

## ○過去の題材

年度	教材
平成 10	住宅
平成 11	塀
平成 12	住宅
平成 13	公園遊具
平成 14	マンション
平成 15	住宅地のまちなみ



平成 13 年度に塗り替え実験を行った公園遊具



作成した色彩計画（左）と講評（右）の様子



# 毎日の生活に彩りを添えるヒントが満載！

No.41

色彩と景観の関係を学ぶ「色彩講座」

長野県上田市



- ❖色彩が人の心理に与える影響や、景観における色彩の重要性等について学ぶ「色彩講座」。
- ❖参加者は、色彩に関する基礎知識を学んだ後に、実際にまちに出て、身近なまち並みで使われている色彩を調査します。講座では、毎日の生活や仕事にすぐに役立つヒントも学べ、色彩の効果や大切さをすぐに実感することができます。
- ❖楽しみながら色彩について学ぶうちに、景観形成に対する意識が育まれていきます。

## 詳細

○対象：市民（定員 20 名）

○目的：市民に、色彩に関する知識や、色使いが景観に与える影響について学んでもらうことにより、まち並み景観の向上に役立てる。

○内容・特徴：参加者は、講義や実習によって、色彩の基礎知識や、建物の色彩が景観に与える影響等について学んだ後に、実際にまちに出て、色彩調査等を行う。生活や仕事にも応用できる内容にすることで、楽しんで学べる工夫がされている。

### ○実施概要

- ・ 日時：6月から9月にかけて全7回の日程で開催
- ・ 場所：市中央公民館
- ・ 参加費用：2,800円（ただし、材料費・実費として）
- ・ 募集方法：市広報誌等で募集
- ・ 実施体制：色彩の専門家が講師を務める
- ・ 教材等：色見本や、色彩の基本情報、考え方等が記された資料を配布



色彩の基礎知識の学習

### ○スケジュール（平成13年度の例）

回	開催日	内容
1	6/28（木）	色の見え方
2	7/12（木）	色の3属性（明度・彩度・色相）
3	7/26（木）	色彩の組み合わせ
4	8/9（木）	実習：トーンスケールの作成
5	8/23（木）	環境色彩と色彩心理
6	9/1（土）	カラータウンウォッチング（街並み検索）
7	9/8（土）	カラータウンウォッチングのまとめ・反省会

\*時間は、1〜5回は午後7時から8時半、6〜7回は午後1時半から4時半



カラータウンウォッチング（上）と、まとめの発表（下）

### ○その他

- ・平成11年に、「講座修了後も継続して市の景観を考えていきたい」という受講生によって「ほーほの会」（上田市の景観を考えていく仲間の会）が結成され、自主的に、景観の勉強会やタウンウォッチング、花壇の植え替え活動、市の計画への提言等の活動に取り組んでいる。
- ・平成16年以降は、講師が理事長を務めるNPO法人が開催している。





❖行政職員や、景観に関連する業務に携わる人々を対象とした、色彩の基礎知識や環境色彩の考え方を学ぶ「環境色彩セミナー」。

❖参加者は、2日間のセミナーで、講義や演習を通じて色彩を科学的に理解していきます。これにより、'好き嫌い'ではなく、色彩を理論的に考え、判断できるようになります。

❖色彩に対する高い意識と、理論的な判断力を持った、行政職員や専門家が生まれるきっかけとなります。

詳細

○対象：県・市町村職員、一般参加者（建築物や構造物の設計、屋外広告物等、景観に関連する業務に携わる人）

○目的：景観の重要な要素の一つである色彩についての知識を習得してもらうことにより、優れた景観の形成に役立ててもらおう。

○内容・特徴：参加者は、2日間の日程で、講義や演習等を通じて色彩についての知識を習得する。1日目は「基礎編」として、色彩についての科学的な基礎知識を学ぶ。2日目は「環境色彩計画編」として、建築物や構造物等の環境色彩の考え方について学ぶ。

○実施概要

- ・日時：連続する2日間、延べ11時間程度
- ・場所：県庁内会議室等
- ・参加費用：県・市町村職員は無料、一般参加者は2,310円（ただし、テキスト代として）
- ・募集方法：県HP等で募集
- ・実施体制：色彩の専門家が講師を務める。
- ・教材等：講義ではパワーポイントやスライド等を使用する。その他、市販の本や、委託先作成のテキスト、JIS標準色票等を使用する。



演習での色相環作成の様子

○プログラム・スケジュール（平成18年度の例）

【1日目：基礎編】

10:00～10:05	開会・挨拶
10:05～11:00	色彩の科学的基礎知識
11:00～12:00	視角のメカニズム
13:00～14:00	色の伝達方法、色彩のコミュニケーション方法
14:00～15:00	JIS規格での色の表記法
15:10～16:00	視覚効果・感情効果
16:00～17:00	色彩調和の原理と形式・カラーハーモニーの実際

【2日目：環境色彩計画編】

10:00～11:00	色彩計画概論
11:00～12:00	色彩計画手法
13:00～14:00	環境色彩の良い事例・悪い事例
14:00～15:30	環境色彩による街並み、都市景観イメージ
15:30～16:00	質疑応答



色相環による「ナチュラルハーモニー」についての説明